

令和2年度 3学年「国語表現」シラバス

沖縄県立那覇工業高等学校 全日制

教科名	国語	指導学年	3学年	対象学科	全学科(選択)
科目	国語表現	単位数	2単位 (70時間)	使用教科書	大修館書店『国語表現』
補助教材	担当教員が配布するプリント				
科目の目標	○国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ○思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く。 ○すすんで表現することによって、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				
学習の方法	○年度初めに国語表現についてのガイダンスを行います。 (教科の目標、授業内容、シラバス(教科の目標、授業内容、シラバスの活用方法、評価の仕方など) ○毎時間の授業では、初めに学習のねらいを示しますので、教科書(補助教材)を参考に積極的に学習する。 ○授業は適宜、課題や小テストを実施して、学習内容の徹底をはかります。 ○基本課題をこなした生徒には応用課題を課します。				
評価の方法	①関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現するとともに、伝え合おうとする。			学習の準備 学習の状況
	②話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする			発表の内容 ワークシート
	③書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に表す。			課題、提出物、レポート、 ワークシート
	④知識・理解	表現と理解に役立つための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。			小テスト
その他	随時、学習のサポートを行いますので、理解のむずかしいところ、つまづいている所は早めの解決しましょう。				

授業計画(どのような内容を、どのように学ぶのか)

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等	
				A 話す こと (と・聞く)	B 書く こと (と・読む)	C 読む こと (と・書く)		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解		
一 学 期	5 月	1 書いて伝える	整った文を書く	8			・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・小テスト
			わかりやすい文を書く				・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・小テスト
			文のつながり				・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	○		◎			◎	・ワークシート ・小テスト
			原稿用紙の使い方				・原稿用紙の正しい使い方を理解する。	○		◎			◎	・ワークシート
	6 月	2 自己PRと面接	自分を見つめて	2			・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	○	○	○				・観察 ・相互評価、 自己評価
			効果的な自己PR	1	2		・自分の長所を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	○	○	◎				・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、 自己評価
			将来の自分を考えよう	1	2		・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○		・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、 自己評価

二 学 期	7 月		志望動機をまとめよう	1	3	・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	○	○	◎	○	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、 自己評価	
		3	会話・議論・発表	相手や場面に応じた会話	2		・場面にあふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	○	◎			○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、 自己評価
		4	自己PRと面接	面接にチャレンジ	2		・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。	○	◎			○	・観察 ・相互評価、 自己評価
	8 月	5	メディアを駆使する	電話を使いこなす	1		・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する。	○	◎			◎	・観察 ・ワークシート ・相互評価、 自己評価 ・小テスト
		9 月	6	しんぶん感想文	新聞の読み方		3	・新聞の読み方を理解する。 ・見出しやリード文をもとに記事の核心にせまる(要約、主題抽出)。	○		◎		◎
	興味のある記事を読み込む					3	・新聞の面構成を把握するとともに、興味・関心を抱いた記事を探し、要約・主題抽出をおこなう。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト
			発想を広げて書く		6	・記事の主題と目らの意見の区別を意識しつつ文章構成をおこなう。 ・原稿用紙の使い方に則り文章を書く。 ・推敲を通して自ら文章をよりよいものにしていく方法を獲得する。	○		◎	○	○	・ワークシート ・作品 ・小テスト	
	10 月			発表会	2		・それぞれが取りくんだ記事と感想文をセットにして、発表する。 ・相互評価を通して、望ましい発表のありかたや、文章を通した思考の深まりを味わい合う。	○	◎			◎	・観察 ・相互評価表 ・自己評価表
		7	メディアを駆使する	通信文を書き分ける		4	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	○		◎		◎	・ワークシート ・作品 ・小テスト
	1 1 月	8	聞いて意見を発信する	演説合戦にチャレンジ	3		・賛成か反対かを明確にし、聞き手を説得できるように、筋道を立てて話す。 ・意見の根拠に注意し、説得力があるかどうかを考えながら聞く。	○	◎	○	○	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、 自己評価
こちら悩みごと相談室				2	1	・悩みごと相談に対する回答を、相手の立場を想像して適切に書く。 ・さまざまな立場の人物になりきって、その視点にあふさわしい回答を書く。	○		◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・相互評価、 自己評価	
9		詩歌を読む	詩歌を楽しむ	3	2	・さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ・一つ作品を選び、群読をおこなう。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、 自己評価	
1 2 月	10	卒業をひかえて	思い出を書く	2	14	・これまでの人生を振り返り、家族との関わりを確かめる(作文「人生で最も思い出深い朝食」) 学校生活を振り返り、具体的に自分との関係を描く。(作文「私の好きなもの」、作文「私の好きな場所(校内)」) ・発表会を通し、仲間の文章を味わい、理解しあう。	○	○	◎	◎	○	・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、 自己評価	
			韻文をつくる					・卒業を前に、詩・俳句・短歌をつくり、発表する。	○	○	◎	◎	○
三 学 期													
				22	40	8							